

特別資料**TOEIC® Tests 入学試験における活用状況** —大学院—**【はじめに】**

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会は、株式会社 大学通信に委託し、2021年10月・11月・12月に一部の大学院における TOEIC® Tests の活用状況について調査を実施しました。

本調査は、大学院に対し、「2022年度入学試験における TOEIC® Tests 活用状況」について調査用紙を送付し、ご回答いただいたものです。

本資料は、ご回答いただいた内容をもとに、当協会にて概要をまとめたものですが、入学試験の詳細な要件につきましては、必ず各学校の入学案内・募集要項・公式サイトなどでご確認くださいますようお願いいたします。

【調査結果の概要】

調査実施校数 (研究科数)	入学試験活用校数 (研究科数)
92 (746)	77 (275)

※上記活用校数の中には非公開を希望した学校も含まれているため、37ページ以降の活用一覧掲載校数とは一致しない

【活用一覧の見方】

国公立・私立別の大学院を原則として都道府県別に五十音順で掲載

入学試験活用一覧

都道府県	学校	研究科・専攻・コース	課程	試験形態	活用方法	活用テスト名	基準スコア	公開テスト	IPテスト
岩手	岩手大学大学院	獣医学研究科 (共同獣医学専攻)	博士	一般入試	英語試験免除	L&R	800	○	—

→ 岩手大学大学院では獣医学研究科 (共同獣医学専攻) 博士課程において、**TOEIC® Listening & Reading スコア 800 点以上を一般入試の英語試験免除要件**としており、**公開テストのスコアを受理**している。

★次ページ以降の「活用一覧」は、各学校にご回答いただいた内容をまとめたものです。表記については、以下の通り記載しています。「試験形態」「活用方法」欄は、選択肢よりお選びいただいた項目を掲載しています。選択項目以外のご回答をいただいた一部の学校に関しては、ご提供いただいた内容をできるだけ忠実に記載しています。しかし、紙面の都合上、文意が変わらない範囲で内容を編集している場合もあります。

また、調査項目の内、特に基準を設けていない場合や非公開の場合、未回答の場合に関しては、「—」で表現しています。

<活用テスト名>

・ TOEIC® Listening & Reading Test : L&R ・ TOEIC® Speaking & Writing Tests : S&W

<テストスコア>

・ TOEIC Listening & Reading Test : 10 ~ 990 点の 5 点刻み
・ TOEIC Speaking & Writing Tests : Speaking, Writing 各スコア 0 ~ 200 点の 10 点刻み

<「試験形態」の選択肢>

■一般入試 ■社会人入試 ■外国人留学生入試 ■推薦入試 ■AO 入試 ■その他

<「活用方法」の選択肢>

■出願要件の一部 ■英語試験免除 ■点数加算 ■合否判定基準の一部 ■その他

★表中の※印は以下を表します。

- ※ 1 TOEIC S&W スコアを 2.5 倍に合算
- ※ 2 IP テストは学内での実施に限る
- ※ 3 IP テスト (オンライン) は対象外
- ※ 4 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置あり
- ※ 5 IP テストは諸条件あり
- ※ 6 例年は出願要件としておりますが、2022 年度入学試験では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公開テストが抽選式になったため、志願者の公平性確保のため出願要件としていません
- ※ 7 筆記試験として当日に実施。出願時スコア提出したものは筆記試験に代えることができる
- ※ 8 障がいなど特別な配慮を必要とする場合に限る
- ※ 9 筆記試験を行わず、スコアにより評価
- ※ 10 筆記試験と TOEIC L&R スコアの換算点を英語試験成績として採用。ただし、スコアの提出は任意
- ※ 11 IP テスト (オンライン) の可否は研究科・入試方式により異なる

★テストスコアに関して、各学校のご回答内容を忠実に再現した結果、「活用一覧」中に実際には存在しないスコアが記載されています。たとえば「601 点」と表記されている場合、「601 点より高い TOEIC Listening & Reading スコア (実在するスコアは 605 点) から入学試験における出願基準などとする」という意味です。

★学校名のみ公表にご協力いただいた学校 (活用の詳細は非公開) は、学校名のみ掲載し、以降の欄はすべて「—」で表現しています。

★TOEIC Tests には公開テストと団体特別受験制度 (IP : Institutional Program、以下 IP テスト) の 2 つの受験方法があります。公開テストは当協会の定めた日程・場所においてご受験いただくもので、IP テストは学校・企業・団体などで任意に日時・場所を指定しご実施いただくものです。

IP テストの結果の有効性は通常、公開テストと同等と判断されますが、IP テストでは公開テストで発行される Official Score Certificate (公式認定証) は発行されず、スコアレポートでの結果報告となります。